

理事会 会議録

日時	令和4年2月5日(土) 14時00分～16時40分
場所	松島フットボールセンター クラブハウス
出席者	菅原英俊副会長・加藤理事長 他、協議会理事 及びブロック長(含:代理)
記録者	広報理事 菅原一美

宮城県サカースポーツ少年団協議会理事会

協議事項

- (1) 令和3年度事業報告等について
- (2) 令和4年度事業計画等について
- (3) 令和4年度(2022年度)リーグ戦について
- (4) 今後の予定について
- (5) その他(会計セルフチェック・クラブウェルフェアオフィサー研修・東日本大震災メモリアルカップU-12・コンプライアンス関係(会計管理)等)

[進行] 千田副理事長

【開会の挨拶】

菅原副会長

身近に広がる「コロナ(オミクロン)」の感染再拡大状況は、非常に気に掛かる中での皆さんの活動、ご苦労様です。引き続き、皆さんも十分に留意して頂きたい。

また本日、次年度の計画、その他の確認事項もありますが、短時間での会議となりますよう、皆さんのご協力をお願いする。

(1) 令和3年度事業報告等について

菅原会計理事

会計報告：現状まだまとまっていない段階なので、改めて詳細については、ご報告を行う。次年度の会計業務の効率化、ゆうちょダイレクトの活用については、前回理事会でお伝え、了承を頂いており、近々、口座の作成連絡をブロック長あてに行います。会計から、動く現金は、「交通費精算」のみの方向で行います。

加藤理事長・・・総務・会計に関し配付資料から補足説明及び確認

JFAの方針から、2022年度より「選手個人登録料 700円」は無料化。MF A600円は継続。協議項目(5)に一旦飛びますが、

- ・トレセン活動に関して、県協会にクレームのメールが入っており、現在、県協会から千葉ユースダイレクターに調査の依頼がされており、現在調査中となっていることを承知頂きたい。

[競技部] 斎藤競技部長

2021年度の事業は、形式的には全事業実施が来ている。
3月初旬に、2021年度のリーグ戦の検証を実施する。

[技術部] 伊勢技術部長

コロナ禍において、やれることはやった。というところであり、2022年度は、従来通りの事業内容にて実施と考えている。

実施事業に関しては、都度、メールでご案内している通り。

[女子部] 山本女子部長

ガールズ大会は、実施。ガールズエイト大会は、中止となった。

[審判部] 佐久間審判部長

審判部会議を実施するなどし、一人審判制のレクチャー等を行い一人審判の徹底と展開を進めている。必要であれば、お声がけ頂き、一人審判制についてのレクチャーを行う準備はできている。

(2) 令和4年度事業計画等について

“ワーキンググループの交通費”において、庄司事務局長及び千葉ユースダイレクターの交通費については、県協会負担とし、協議会からの支出にはならない。

協議会メンバーの交通費精算は、伊勢座長（技術部長）に確認の上、精算手続きへ。

理事会メンバーの交通費精算に関しては、桑嶋総務部長の管理下にあるため、確認に少々お時間を頂きたい。

[競技部] 斎藤競技部長

2022年度計画案・・・資料に基づき説明

1月23日に行われた「グラウンド調整会議」で事業実施に必要なグラウンドは確保し、「年間カレンダー」に落とし込み。

2022年度のTOPリーグの扱い、日程に関して「U-10・11リーグ」について補助金を得ていたこともあり、実施の検討と扱い等々の確認は必要。

[技術部] 伊勢技術部長

4年生・5年生選抜、及び県協会主催となるが「デクセリアルズ杯」を予定。

「デクセリアルズ杯」については、スポンサーの意向も踏まえ、2022年度は「記念大会」として実施される計画あり。詳細は今後。

[女子部] 山本女子部長

2022年度も例年通りの大会を予定

☆ 女子選手の大会参加において、各ブロックでの“女子部の認識・意識”をしっかりと持って頂きたい。

JFAから「“トレセン”の名の下に来ているにも関わらず、帯同した指導者の声かけ（コーチング？）は、トレセンの活動としては、そぐわない発言があった」との指摘を受けている。

帯同する指導者にも、選手及び保護者に向けても“トレセン”の意味を理解し、意識付けをしっかりとって頂きたい。

(3) 令和4年度（2022年度）リーグ戦について

[ワーキンググループ] 伊勢技術部長（座長）

WGでまとめてきました「実施案（配付資料）」を本日、本理事会で承認をお願いし、2022年度の事業として進めるようにしたい。

TOPリーグのリーグ戦運営にあたっては、ワーキンググループメンバーの“千田進氏”をチーフとして「リーグ事務局」を設け、運営管理にあたって頂く。

2022年度は、別紙配付の通りでグループ分けを行い、実施していきたい。

※JFAとしては、U10・11のリーグ戦すべての実施を望んでいるが、今年度の実施は可能か。実施しなくても許されるが、どうすべきか。

- ↓
- ・ 2022年度も「U10・11リーグ戦」は実施する。
- ・ 日程・対戦表、実施要項その他資料を早急に作成する必要あり。
- ・ リーグ戦の実施にあたっては、会場（運営）の実態に合わせて実行することが必要。
- ・ 11・12月は、デクセリアルズ杯・フジパンカップ等もあり、リーグ戦自体を実施している時間はかなり厳しい。

[確認事項]

- ・合同チームは、“全少への参加は可能”であるが、オープン参加扱いとし、全国大会出場の権利自体持つことは無い。(リーグ戦では、表彰対象)
 - ・新人戦の結果は、全日本のシードに反映させない。
 - ・全日本のシード枠は、TOPリーグ 20 枠・会場枠等で設定する
- ◎TOPリーグの実施方式は、2022 年度実施方式で固定することでは考えずに、2022 年度のリーグ戦を実施しながら、検証を行い 2023 年度に実施方式は変更するくらいのつもりで、臨んでいく。次年度に向けての再協議は、年内にまとめる。

☆お願いを兼ねて、

TOPリーグに上がるチーム、上がったチームは、各々で【グラウンドの確保】はするつもりで協力参加して欲しい。<試合数をしっかりとこなせるように取り組んでほしい>

(4) 今後の予定について

現時点では、宮城県内においても新型コロナウイルス感染拡大状況等による影響がどこまで拡がり、またどこまで続いていくか見えておりませんので、理事会の今後の予定については、後日お知らせします。

(5) その他

- ・資料の展開について → 配付資料は、全チームへの展開を了解する。
- ・県協会に寄せられたトレセン活動に関する投稿に関して
勝利優先であるか → トレセンの活動で行われる試合は、決して勝利目的ではない。
「トレセン」は“トレーニングセンター”の略であり
『日本サッカーにおける選手の発掘育成システム。育成における中心的な役割を担っているシステム』。
- 参加費について → 使途の明確化。会計報告はしっかりと行う必要あり。
- 選手の活用について → さまざまな活動においてレギュレーションがあり、投稿された活動に際しての選手起用については、レギュレーション上の問題は無い。
指導者も含めて、トレセン活動の主旨を理解し、親御さんも含めて説明する必要は感じる。

☆投稿に対する対応について：
・県協会では、匿名の投稿には回答をしない。
・投稿事案に応じて、各種別・委員会に対応を指示。
※今回は 4 種案件につき、4 種に回ってきた案件

【閉会の挨拶】

千田副理事長

リーグ戦の案件等々、各ブロックのご協力をお願いします。

以上をもって、本日の理事会を終了とする。

16 時 40 分閉会 (次回理事会開催は、未定)

2022 年 2 月 5 日 (土)

会議録署名人

菅原一美

記録者 菅原一美

